

ダブル連結トラック活用の共同配送が 「令和4年度物流パートナーシップ優良事業者表彰」 部門賞を国土交通省から受賞

センコー株式会社(本社:大阪市北区、社長:杉本 健司、以下「センコー」)が、国土交通省から「令和4年度物流パートナーシップ優良事業者表彰」の部門賞(物流構造改革表彰)を受け、12月22日に砂防会館別館(東京都千代田区)にて表彰式が行われました。



表彰式(左から、旭化成ホームズ 施工本部 物流部長 橋 徹、国土交通省大臣官房 公共交通・物流政策審議官 鶴田 浩久、センコー 取締役 常務執行役員 ロジスティクス営業本部長 河合 利広、フジテック 専務執行役員 生産本部長 丸山 博司)

表彰の対象となった取り組みは、「ドリー式ダブル連結トラックを活用した共同配送の推進」です。

センコーは、旭化成ホームズ株式会社(本社:東京都千代田区、社長:川畑 文俊)、フジテック株式会社(本社:滋賀県彦根市、社長:岡田 隆夫)の協力のもと、関東-関西間の配送を集約して共同配送するドリー式ダブル連結トラックを活用することで、CO2排出量や車両台数、ドライバー数を削減しました。

ダブル連結トラックは、ドリー式を採用しており、連結を解除すると大型車とセミトレーラーの2台に分けることができるので、同時に各サプライヤーへの配送が可能です。中継地点でドライバーが交代し、ドライバーの日帰り運行も可能にしました。

センコーはこの取り組みにより、ドライバーの運転時間に上限が設定され、輸送力の継続が懸念される2024年問題への対応や輸送中のCO2排出量の削減を、お客様とともに目指していき、次世代の長距離幹線輸送を推進していきます。

以上